

女子200メートル平泳ぎ

服部が6位入賞

水泳ジャパンオープン(学園八王子高)が6位入賞を果たした。2017年5月19日、江東区・東京辰巳国際水泳場

女子200メートル平泳ぎで服部友香(商4・八王子)



服部の力強いストローク=撮影・石崎愛奈(法3)

大会3日目、本命の200メートル平泳ぎ予選は服部らしい伸びのある泳ぎで、シーズンベストに迫る2分27秒88でゴール。全体4位と危ない順位で初の決勝進出を決めた。決勝は2人の日本代表選手にはさまれたコースとなり、重圧とも闘うことに。序盤から懸命に前を追ったものの予選ほどの伸びはなく、2分27秒88でレースを終えた。「両サイドについていき自己ベストを更新しようと思っていたが、前半から力んでしまった」と悔しさをにじませた。

15日、16日に行われた女子エペに、能勢葉月(経営4・鳥取湖陵高)、曾根一葉(法4・新潟商高)、山田瑞樹(文2・柏陵高)、佐藤絵蘭(商1・埼玉栄高)が出場

女子エペ3位

関東学生フェンシングリーグ戦5月11日、24日、世田谷区・駒沢オリンピック公園 園体育館



エペに出場した左から佐藤、能勢、曾根、山田

ない状態で迎えた3戦目の早大戦。昨秋の関東学生選手権で敗れた悔しさをバネに、勝利を手にした。最終戦で慶大に勝利し、3位に入った。連敗を喫し、負けられない状態

15日、16日に行われた女子エペに、能勢葉月(経営4・鳥取湖陵高)、曾根一葉(法4・新潟商高)、山田瑞樹(文2・柏陵高)、佐藤絵蘭(商1・埼玉栄高)が出場

準硬式野球

3位 神山がベストナイン

東都大学準硬式野球春季リーグ戦3月18日、王子市・上柚木公園 野球場ほか



粘り強い投球で勝利に貢献した山口(東洋大1回戦)

最終カードの東洋大戦は山口寛太(法2・金沢市立工高)が好投し2勝を挙げ、チームの勝ち点獲得に大きく貢献した。終わってみれば勝ち点3でリーグ3位、上位に食い込んだ。

個人では神山琢郎主将(経営4・県岐阜商高)が捕手でベストナインに選出された。

神山主将は「4連敗して流れの悪いスタートだったが、チーム全員が自覚を持って立て直すことができた。毎年苦戦して

3位に躍進

関東大学バスケットボール新人戦6月5日、渋谷区・代々木第二体育館ほか

昨年の7位から大きく躍進し、3位で大会を終えた。

専大は準決勝で日大と対戦。リードを許して迎えた後半、開始早々から

流れを作ったのは盛實海翔(商2・能代工高)。得点、アシストで攻撃陣を引っ張る活躍を見せ、専大がリードを奪って第4ピリオドへ。盛實の勢いは止まらず、最大15点のリードを奪うも、残り5分から日大に0-16のランを許し、82-89とまさかの逆転負け。3位決定戦に回った。



チームをけん引した盛實(撮影・富樫)

点を重ね、流れを呼び込むと、後半も終始圧倒。115-57で快勝した。優秀選手に選ばれた盛實は、「初戦からチームとしてやるべきことをやっていた。点差を広げられても、メンバーが入れ替わっても、その姿勢を崩さず継続できた。ベンチにいるときでも声をかけるように意識していた」と大会を振り返った。

上回る好成績を収めるも、順位は変わらず5位。山田展主将(商4・横浜旭陵高)は、「自分たちの満足する結果にならなかったが、個々の力を出し切った。全国大会は優勝を目指し、高い意識を持って臨む」と意欲をみせた。

女子は10、11日のAブロック対抗戦で6位に終わり、Bブロック降格が決まった。(飛田翼・文3)

7位に終わる

東日本学生レスリングリーグ戦5月17日、世田谷区・駒沢オリンピック公園 園体育館

専大は1日目を5位で折り返し2日目は初日を

敗れ、5、8位リーグ戦に回り、1勝2敗で7位に終わった。個人で全勝した松尾侑亮(商4・いなば総合学園高)は「自分が勝ってチームを盛り上げることが考え最後まで持ちを切り替えて頑張りたい」と語った。(谷田祐樹・法3)



卓球部 田添健汰(商4・希望が丘高)、安藤みなみ(商3・慶誠高)、及川瑞基(商2・青森山田高)、三部航平(商2・青森山田高) ITTFワールドツアー・中国オープン(6月22-25日、中国・成都)

バスケットボール部 重富周希(経済1・福岡第一高) FIBA U19 ワールドカップ2017(7月1-9日、エジプト・カイロ)

剣道部 関東学生選手権(男子) 平野青地(文3・東福岡高)、森光聖(経営2・福岡大附大濠高)、安藤修平(経済4・秋田南高)、了戒一彰(商3・東福岡高)、秋吉涼平(商1・東福岡高)が全日本学生剣道選手権の出場権獲得

柔道部 東京学生優勝大会(3回戦進出)※全日本学生優勝大会の出場権獲得

記録コーナー

男子単 矢部

インカレ出場権

女子複 宮内・鈴木

関東学生テニストーナメント大会5月1-7日、江東区・有明テニスの森

男子シングルスで矢部

梨奈(商3・秀明八千代高)、鈴木葵(経済3・



得意のフォアで攻める矢部

秀明八千代高)ペアが3回戦に進出し、全日本学生選手権本戦(インカレ)8月7-13日、岐阜市の出場権を得た。

矢部は「自分のミスから、集中を切らしてしまいう場面があった。インカレでは我慢強いプレーを心掛ける」と話した。

鈴木は「インカレではポイント目から思いきりのいいプレーをした」と語った。

大会の結果、インカレ予選にはシングルスで6人、ダブルスで3組が出場する。(石崎(写真))

三澤日向子(法1・横浜清陵総合高)が出場し、8位入賞を果たした。競技はショートプログラムで争われ、三澤は「大学生になって初の試

三澤が8位入賞

個人では神山琢郎主将(経営4・県岐阜商高)が捕手でベストナインに選出された。

今年から活動を再開したフィギュアスケート部の



軽快なステップを見せる三澤

今年から活動を再開したフィギュアスケート部の